

愛媛県 HIV 抗体検査 (エイズ検査) 普及週間のお知らせ さあ受けよう！検査は予防の第一歩

6月1日(日)~6月7日(土)は、愛媛県 HIV 抗体検査(エイズ検査)普及週間です。この期間、県保健所では、夜間・休日等のエイズ検査(迅速検査)と電話でのエイズ相談を実施します。感染不安がある方、エイズについて知りたいことがある方など、お気軽にご利用ください。実施日時などは各保健所によって異なりますので、最寄りの県保健所へお問い合わせいただくか、愛媛県保健福祉部『愛媛県 HIV 検査普及週間について』(ホームページアドレス <http://www.pref.ehime.jp/h25500/hiv/hiv-kensasyuukan2008.html>)をご参照ください。後天性免疫不全症候群の発生動向については、次ページに掲載しました。

発生動向の概況

百日咳が全国的に多発しています。愛媛県内でも4月下旬から中予の10歳代を中心に多発し、平成20年は第21週までに68例の報告があり、平成12年以降最も多い発生となっています。この疾患は6カ月以下の乳児が感染すると、肺炎や脳症等の合併症を引き起こし重篤化することがあります。定期予防接種時期(生後3ヶ月~)に達したお子さんは早めに予防接種を受けましょう。また、成人の方は症状が軽く感染に気づかないことがあり、ワクチン未接種の乳児の感染源になることがあります。咳が長引く場合は早めに医療機関を受診しましょう。

夏の感染症が増加してきました。手足口病は今治地区で急増しました。この疾患は、まれに髄膜炎などの合併症を引き起こします。高熱、頭痛、嘔吐などの症状がある場合には早めに医療機関を受診しましょう。ヘルパンギーナは県内全域で発生していますが、特に、西条、今治地区で急増しています。この疾患は重症化することはほとんどありませんが、喉の痛みから水分がとれず、脱水症状になることがあります。水分補給を心がけてください。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症(結核は除く)

- 三類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 3例(O157 1例、O26 2例)
- 四類感染症 : 日本紅斑熱 1例
- 五類感染症 : 後天性免疫不全症候群 1例(AIDS)
麻しん 1例(10歳未満 男性)

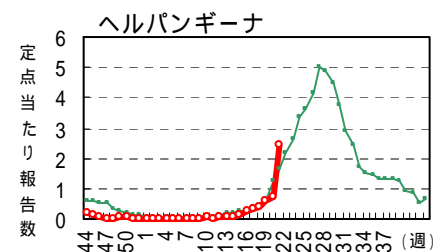
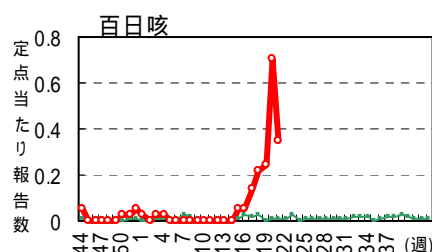
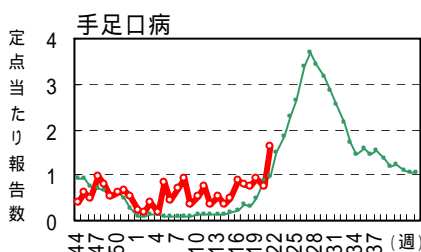
定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載)

	愛媛県推移	県内の傾向
咽頭結膜熱	↗ 0.3	微増傾向。県内全域で発生している。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 2.7	例年どおりの動向で増加傾向。中予で多発している。
手足口病	↗ 1.6	今治地区で急増した。
百日咳	↗ 0.4	中予の10歳代を中心に多発した。10歳代以上が約60%を占めている。
ヘルパンギーナ	↗ 2.4	全域で発生してきた。西条、今治地区で急増。
流行性耳下腺炎	↗ 0.7	中予及び八幡浜地区で多発している。

解析評価委員のコメントから

- 咽頭結膜熱 : 結膜炎のないアデノウイルス感染は、少しみられます。兄弟で感染しています。(東予)
- 百日咳 : 乳幼児ではなく、学童から成人に見られています。(中予)
- 流行性耳下腺炎 : 八幡浜・大洲及び松山で多発しています。当科でも時々見かけます。先週1例、ムンプスウイルスによる髄膜炎患者が入院していました。(南予)

過去30週の動向 (○ : 過去30週の動向、 ● : 過去10年の平均)



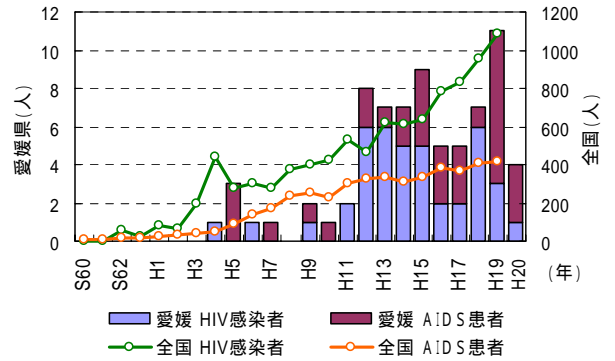
(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.jp までお願い致します。

後天性免疫不全症候群（エイズ A I D S ）が増加中！

全国のHIV感染者・AIDS患者の新規患者報告数は、増加傾向が続き、平成 19 年においては過去最高の 1,500 人となりました。愛媛県においても、平成 19 年は 11 人と過去最高となり、平成 20 年はこれまでに 4 人の報告がありました（右図参照）。

エイズは決して他人事ではありません。『大切な人を守るために』、ひとりひとりがエイズを正しく理解し、感染予防を心がけてください。検査結果を知ることは、大切な人を守るだけでなく、感染者本人にとっても、早期治療を開始すれば発病を遅らせることができるので大変重要です。

図 HIV感染者及びAIDS患者新規報告数の年次推移



病原体検出情報

百日咳の患者が増加しています。第 18 週の宇和島地区に続き、第 21、22 週には、松山地区及び松山市の百日咳患者各 1 例から百日咳菌の遺伝子が検出されています。また、第 20、21 週には松山市で採取された溶レン菌咽頭炎患者検体 6 例中 3 例から A 群溶レン菌が検出されました。

過去6週 検出病原体

(4月21日以降採取検体)

週	期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
17	4/21 ~ 4/27	松山市	溶レン菌咽頭炎	A群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1
			感染性胃腸炎	ノロ サボ	糞便	6 1
			下気道炎	コクサッキーB5	咽頭ぬぐい液	1
			不明熱	コクサッキーB5	咽頭ぬぐい液	2
18	4/28 ~ 5/4	松山市	感染性胃腸炎	ノロ	糞便	1
		宇和島	百日咳	百日咳菌(遺伝子検査)	鼻咽頭ぬぐい液	1
20	5/12 ~ 5/18	松山市	溶レン菌咽頭炎	A群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	2
21	5/19 ~ 5/25	松山市	溶レン菌咽頭炎	A群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1
		松山	百日咳	百日咳菌(遺伝子検査)	鼻咽頭ぬぐい液	1
22	5/26 ~ 6/1	松山市	百日咳	百日咳菌(遺伝子検査)	鼻咽頭ぬぐい液	1

月別病原体検出結果

検出病原体	検体採取月		2008					合計
	2007							
コクサッキーB5					4		4	
インフルAソ連	8	20	5	1			34	
インフルA香港				3			3	
インフルB			1	3			4	
RS	25	8	1				34	
ウイルス			7	10	15		32	
ノロ	25	19	14	18	7		83	
サボ	5	3	4	3	1		16	
アデノ				1			1	
アデノ 1		1	1		1		3	
アデノ 2	1	3		2			6	
単純ヘルペス 1			1	1			2	
ウイルス計	64	54	34	42	28		222	
細菌			1				1	
下痢原性大腸菌			1				1	
A群溶レン菌	2	2	2	4	3	3	16	
百日咳菌						3	3	
細菌計	2	2	3	4	3	6	20	

臨床診断名別検出結果 (2008年3月以降採取検体)

検出病原体	インフルエンザ	溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	百日咳	下気道炎	上気道炎	不明熱	発疹症・不明発疹症	合計
コクサッキーB5					1		3		4
インフルAソ連							1		1
インフルA香港	2						1		3
インフルB	1					1	1		3
ロタ			25						25
ノロ			25						25
サボ			4						4
アデノ			1						1
アデノ 1							1		1
アデノ 2							1	1	2
単純ヘルペス 1							1		1
ウイルス計	3		55		1	1	9	1	70
A群溶レン菌		10							10
百日咳菌				3					3
細菌計		10		3					13

愛媛県 定点把握五類感染症 2008年 第 21 週 (2008.5.19 ~ 5.25)

患者報告数		1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点						
			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎		3) マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
保健所別	四国中央	10			4	24	2	1	1	3		4								四国中央	
	西条				11	44	26	11	3	8	1	23			2					西条	
	今治		1	1	13	45	16	36	5	7		32			2					今治	
	松山市			1	8	48	182	19	9	2	13		21	14		4	-	-	-	-	松山市
	松山		1		1	20	42	8			8	10	7	5							松山
週推移	八幡浜				4	61	10	2		7		1	5		10					八幡浜	
	宇和島	1				6	14	1	1	2	2	2	1							宇和島	
愛媛県	愛媛県	14	2	10	100	404	95	60	12	48	13	90	25		18					愛媛県	
	1週前	15	2	13	84	368	102	28	4	42	26	27	35	2	17					1週前	
	2週前	12	2	7	55	265	68	34		38	9	21	13		21					2週前	
	3週前	22	3	20	58	383	80	28	5	36	8	15	22		16					3週前	
年齢別	0-5ヶ月		1			1	2	1		1		1								0	
	6-11ヶ月	2				13	7	4		23		4								1-4	
	1	1		2	1	53	21	15		22	1	22	1							5-9	
	2					44	19	12	1	1		28	2							10-14	
	3	2	1	4	7	56	18	14	2	1	1	15	1		1					15-19	
	4	2		1	14	52	11	5	1			15	3		2					20-24	
	5	2		1	17	42	11	8	3			4	4							25-29	
	6	1			14	27	1		1			1	5							30-34	
	7				14	24	3	1					2		1					35-39	
	8				9	22				1			1							40-44	
	9			1	8	18	1		2		3		1							45-49	
	10-14	2		1	15	38	1		1			2	2		2					50-54	
	15-19					3						4									55-59
	20-29 ⁴⁾	1			1	11						2			3					60-64	
	30-39														2						65-69
	40-49														1						70-
50-59	1													1							
60-69														4							
70-79 ⁵⁾														1							
80-														1							

年齢別（基幹定点疾患）

定点当たり報告数

保健所別	四国中央			1.3	8.0	.7	.3	.3	1.0		1.3		-	-					四国中央	
	西条	1.0			1.8	7.3	4.3	1.8	.5	1.3	.2	3.8			2.0				西条	
	今治	.3	.2	.2	2.6	9.0	3.2	7.2	1.0	1.4		6.4			2.0				今治	
	松山市		.1	.7	4.4	16.5	1.7	.8	.2	1.2		1.9	1.3		1.3	-	-	-	-	松山市
	松山	.1		.3	5.0	10.5	2.0			2.0	2.5	1.8	1.3							松山
愛媛県	八幡浜				1.0	15.3	2.5	.5		1.8		.3	1.3		10.0				八幡浜	
	宇和島	.1				1.5	3.5	.3	.3	.5	.5	.5	.3						宇和島	
愛媛県	.2	.1	.3	2.7	10.9	2.6	1.6	.3	1.3	.4	2.4	.7		2.3					愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は5月28日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 第19、20週 (2008.5.5 ~ 5.18)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点					
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3) クラミジア肺炎		
19週	愛媛県	.2	.1	.2	1.5	7.2	1.8	.9		1.0	.2	.6	.4		2.6					
	近畿県	香川県	.2		.1	.9	8.3	2.4	.6	.0	.5	.0	.1	.0		.3				
		徳島県	.0		.7	1.2	7.4	2.9	.5	.1	.6			.1						
		高知県	.1		.3	.9	6.6	3.2	.4	.1	.4	.0	.0	1.1			.1		.3	
		全国	.2	.0	.4	1.7	5.3	2.0	.4	.1	.5	.1	.2	.4	.0	.7	.0	.0	.4	.0
	北海道	.1	.1	.3	1.9	2.7	1.6	.0	.1	.3	.0	.0	.1		.5			.1		
	東北	.2	.1	.2	1.8	5.0	1.6	.0	.1	.5	.0	.1	.4	.0	.5			1.1	.0	
	関東	.1	.0	.3	2.1	4.2	1.9	.1	.1	.6	.1	.1	.3	.0	.9	.1	.1	.4		
	甲信越北陸	.2	.0	.4	2.3	7.0	2.4	.2	.2	.5	.0	.1	.4		.5		.0	.3	.0	
	東海	.1	.0	.3	1.6	4.4	1.8	.4	.1	.6	.1	.1	.6	.0	.4	.1		.3	.1	
近畿	.1	.1	.5	1.4	6.7	1.8	.4	.1	.5	.0	.1	.4	.0	.6	.0	.0	.2			
中国四国	.2	.0	.5	1.5	6.5	2.2	.6	.1	.6	.1	.3	.3		1.0	.0		.2	.0		
九州沖縄	.5	.0	.5	1.4	5.8	2.7	1.2	.1	.6	.1	.5	.6	.1	.8	.1	.0	.2			

(2008.5.14集計)

20週	愛媛県	.2	.1	.4	2.3	9.9	2.8	.8	.1	1.1	.7	.7	.9	.3	2.1					
	近畿県	香川県	.1		.5	.7	9.2	2.1	.9		.6	.1	.1	.1						
		徳島県	.3		.3	2.0	7.9	1.7	.3	.0	.7		.1	.3						
		高知県	.1		.3	1.6	7.1	2.8	.2	.2	.5		.2	1.5		1.0			.1	
		全国	.2	.0	.5	2.8	6.8	2.1	.5	.2	.7	.1	.2	.4	.0	.8	.0	.0	.4	.0
	北海道	.3	.1	.3	3.5	3.9	2.0	.1	.1	.5	.1	.0	.1		.7			.2		
	東北	.2	.1	.3	2.8	6.0	1.7	.1	.3	.7	.0	.2	.3	.0	.6			.9	.0	
	関東	.1	.0	.3	3.7	6.1	2.1	.1	.2	.7	.1	.1	.4	.0	.9	.1	.1	.5	.1	
	甲信越北陸	.2	.0	.6	3.3	9.0	2.2	.3	.3	.6	.1	.2	.3		.8			.1	.1	
	東海	.1	.0	.5	2.7	5.9	1.7	.4	.1	.7	.1	.2	.7		.4	.0	.0	.4		
近畿	.1	.1	.7	2.1	7.9	2.0	.4	.1	.6	.1	.1	.4	.0	.7		.1	.3			
中国四国	.2	.0	.5	2.4	8.0	2.3	.7	.2	.7	.3	.3	.4	.0	1.4		.0	.3			
九州沖縄	.4	.0	.6	2.1	7.1	2.5	1.8	.1	.8	.1	.9	.6	.0	.9	.0	.0	.2			

(2008.5.21集計)

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。

2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

3) オウム病は除く。

全国 全数把握感染症 第19、20週 (2008.5.5 ~ 5.18)

疾病名	二類		三類感染症					四類感染症														五類感染症																											
	(1) 急性灰白髄炎	(2) 結核	(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(12) コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ボツリヌス症	(33) マラリア	(34) 野兔病	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) ウェルシュ菌感染症	(14) バンコマイシン耐性腸球菌感染症	(14-2) 風しん	(14-3) 麻しん								
全 国		450		5	77	1		3		1			7	4											16		8	3			2	3	23		1		15	3		1	7	539							
第19・20週報告数	四国	愛媛県		4																																								1					
		香川県		2			1																																										
		徳島県		1																																													
		高知県		5																										1															1				
	ブロック別	北海道		17			2																																							144			
		東北		37		1	4			1				4											2			2																	8				
		関東		157		4	13	1		1		1				3									6		2		2																245				
		甲信越北陸		27			7							2											2				2																2				
		東海		39			20																		5																				49				
近畿		58			12																						2	2																30					
中国四国		45			7																							1															38						
九州沖縄		70			12								1	1																													23						
週推移	全 国	20週		291		4	53	1			1			5	3												10		4				2	1	13		1		10					5	302				
		19週		159		1	24								2	1												6		4	3								5	3		1	2	237					
		18週		249		1	5	25		2	1	2																12		5	2	1	3	2	13	2			10	2			4	287					
		17週		285			5	16		4	1	1																9		9	2	1	1	1	15				5	1			2	5	342				
2008年累積数	全 国		1	8791	17	103	426	19	15	18	66	5	1	2	67	22	5											11	2	2	272		293	76	79	2	52	50	518	31	6	275	26		26	169	8073		
		四国	愛媛県		94		1	12																																								1	10
			香川県		51			7																																								1	4
			徳島県		58																																											1	1
	高知県			60																																											1	3	
	ブロック別	北海道	1	234		4	8	2		7	1	4																	6		6				1	9		1		6	2		3	7	1094				
		東北		607		7	14			1	9		1		18	2															1	16		12	2	4		6	2	6		5	3		6	247			
		関東		3062		12	44	59	9	8	6	32		1	1	12	10												8	1	1	79		123	22	19	2	14	18	277	19	1	96	6		11	57	4728	
		甲信越北陸		457		4	9	40			1	1				3	1																	9	2	2		4	5	13	2		10	3		2	13	108	
東海			1129		1	8	50	2	2	2	5				3	4	1												1				39	6	6		8	4	50	2		51	3		5	17	322		
近畿		1425			15	71	5	5		11				1	3	1												1				71	21	20		9	10	96	5	2	31	1		1	24	422			
中国四国		735			4	47	1			3				7		1																15	13	8		4	4	26	2		16	3		2	23	276			
九州沖縄		1142			12	137			1	4	1			23	2	2												1		1	16		18	10	14		7	6	41	1	2	60	5		2	22	876		

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。
 ・2008年1月からの省令改正に伴い、疾病を追加および並び順一部変更しました。

(2008.5.21集計)